

# 上手に使って疑問を解決

## 図書館でこんなことも調べられます

毎日の生活の中で、「ちょっと知りたいな」「言葉の意味が分からない」ということはありませんか？ そんな時は、市民図書館を利用して下さい。いつでもレファレンス(調査相談)サービス(\*1)を受け付けています。



宗像市民図書館

- **これまでにあった疑問を紹介します**
- (Q1) 江戸時代の物価を知りたい
- (A1) 資料/出版元/内容 「江戸生活事典」/青蛙房/米価、職業別の労賃が詳しく分かります
- ▽ 「物価の文化史事典」/展望社/近代日本1000年余の物価の推移が分かります
- ▽ 「日本の貨幣」/フクニチ新聞社/銭湯、髪結床、食物、酒など生活に密着した内容
- (Q2) 外国の予算や財政状況はどうなっているの？
- (A2) 「世界年鑑」/共同通信

- **社/国ごとの国家予算や国内総生産などが分かります**
- ▽ 「世界国勢図会」/矢野恒太記念会/各国の歳出使途別構成や歳入構成が掲載され、防衛、教育、社会保障など項目別に歳出額が分かります
- ▽ 「ブリタニカ国際年鑑」/ブリタニカ・ジャパン/国内総支出や対外債務、国際収支などが分かります
- **利用できるのは**
- 市内に在住、通勤、通学する人
- \* 市外に在住の人は居住地の図書館を利用してください。ただし、宗像市に関する質問は受け付けます

- **次のような質問は受け付けてできません**
- ▽ 身上相談、医療相談、法律相談
- ▽ 美術品、骨董(こつとう)品などの鑑定
- ▽ 学校の宿題
- ▽ クイズ、懸賞問題
- ▽ 個人のプライバシーに関することなど
- **次の方法でも質問をすることができます**
- ☎ (37) 1321
- FAX (37) 2956
- ✉ tosho@city.munakata.fukuoka.jp
- ✉ kata.fukuoka.jp
- ▽ 市民図書館 <http://munakata.uxt.cnet.co.jp/> 「本をさがす」 ↓ 「レファレンス」

**むなかた見聞学講座 戦国の山城 「許斐山」を歩く**

「城」というと、高い石垣の天守閣をイメージしがちですが、「城」「土」「成」の文字が示すように、中世城郭のほとんどは土造りでした。許斐山に残る土を削った城壁や、空堀など土造りの城の痕跡をたどりながら、中世城郭を実感してみませんか。受講無料。

\* 許斐山山頂まで登ります

日程 10月8日(土)

時間 集合 午前9時30分

終了予定 正午

集合場所 宗像ユリックス・第4駐車場(ゆくゆ)

- 講師 藤野正人さん(北部九州中近世城郭研究会)
- 定員 抽選で50人
- 申込方法 9月28日(水)必着で、①住所②氏名③電話番号を明記して、宗像ユリックス図書館へ次のいずれかの方法で申し込む
- ハガキ(〒811-3437/久原400)
- ▽ FAX(前送)
- ▽ FAX(前送)
- ▽ 直接窓口
- \* 受講決定者には案内状を発送します
- 問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321



# シリーズ 景観 第4回

## 景観形成の取り組み

市でも、既に地域の伝統や風土を生かした良好な景観形成に向けた取り組みが始まっています。特に南郷地区の原町では、唐津街道南郷協議会を中心に旧街道の街なみを守る「街なみの修景」が実施されています。今回は、同協議会会長の時安正明さん(71歳)と事務局長の垣田昭文さん(69歳)に話を聞きました。【関連記事1ページ】

● **活動のきっかけは何ですか？**

国道の抜け道となって渋滞が絶えない旧街道を、どうかしたいという危機感から、取り組みを始めたのが16年前でした。活動は最初から順調だったわけではなく、10人に満たない集まりからスタート。景観について勉強会を重ね、修景事業に至るまでに8年を費やしました。徐々に地域の理解が深まり、今では34人のメンバーで取り組んでいます。

● **修景の効果には、どんなものがありますか？**

昔ながらの唐津街道の街なみとして注目されるようになり、最近は通りを散策する人が増え、市外の団体などからの視察の問い合わせもあります。市内外から原町にお店を出したいという声も聞くようになり、景観に配慮したそば屋やカフェができたことで、まちの新たな魅力となっています。

● **景観を守り、受け継いでいくために大切なことは何ですか？**

原町では九州大道芸まつりなど、さまざまな切り口でまちづくりに取り組んできました。そのような活動を通じて、地域のまちづくりの気運を高めてきたことが街なみの修景にもつながっていると思います。景観を守り続けるためには、自分たちの独りよがりではなく、一歩下がって話し合うことから始め、地域の住民も行政も外部の専門家も一体となって取り組むことが大切です。

● **これからの活動の展開をどのように考えていますか？**

原町にも高齢化の波が押し寄せています。取り組みの世代交代が進まず、年齢層が年々高くなるのが現実です。原町の多様な庭木が織り成す四季の景観、これまでみんなで続けてきた活動、それらを次の世代にいかにつないでいくか、考える時期にきています。みんなでいろんなアイデアを出し合い、そして、地域内外の人とのつながりを大切にしながら、一過性のまちづくりではなく、長く熱くまちづくりを続けていきたいと思っています。



唐津街道での祇園祭

このような景観によるまちづくりは住民の絆を深め、まちに対する誇りをつくっています。みなさんの力でまちの景観を守っていくことは地域の文化を守り、育て、受け継いでいくことにつながります。

■ 問い合わせ先 都市計画課 ☎(36)1484

**好評発売中! 広告主を募集 広報紙とホームページ**

市では、平成18年10月から市の広報紙とホームページに有料広告を掲載しています。あなたも広告を出してみませんか。

◎ 広告の規格と掲載料 (このほかにも1/3ページ、1/2ページ、1ページの規格があります)

規格	広告の大きさ	料金(1枠1回につき)	色数
広報紙	1号 縦 5.9cm	1枠当たり	白黒1色
	横 12cm	20,000円	
ホームページ	2号 縦 5.9cm	1枠当たり	白黒1色
	横 24cm	36,000円	

\* 1年間に12号以上掲載を希望する場合は10%、6号以上掲載を希望する場合は5%を掲載料から割り引き

◎ 締め切りは掲載希望号の2カ月前

市では今後、印刷物などにも有料広告を掲載し、歳入の確保に努めていく予定です。みなさまの理解と協力をお願いします。

問い合わせ先 情報政策課広報編集係 ☎(36)1055

**資格へチャレンジ!!**

**准看護学生募集**

社会人入試 平成23年11月5日(土)

一般入試 平成24年1月14日(土)

**福岡看護高等専修学校**

● 奨学金他、お問い合わせ ☎0940-42-7928 <http://fukuma-kango.web.infoseek.co.jp/>

〒811-3295 福津市花見が浜1丁目5番1号